

議会だより

No. 31 2012年8月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 阿部 久夫
●編 集：議会広報編集特別委員会



7/8 道の駅 オープン

写真下段左：直売所「四季味わい館」
写真下段右：オープニングイベントの餅つき

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索

6月議会で決まったこと	2 P
一般会計補正予算質疑応答、討論	3 P
市長所信表明	4 P
一般質問 23名が市政を質す	4 ~ 15 P
各常任委員会、地域医療対策調査特別委員会報告	16 ~ 17 P
6月議会の全議決結果、平成23年度政務調査費報告 各会派の1年間の活動	18 ~ 19 P
議会全員協議会開催 国保税 税率据置き	20 P

6月議会で決まったこと

平成24年度南魚沼市一般会計補正予算(第1号)

3億7,390万円を追加し、

(万円未満切捨)

総額は327億2,590万円に

基幹病院開設後の医療再編で、現県立六日町病院は、市立として運営されますが、新たな病院棟について、実施設計を進めます。

今年度は、当初予算の8,000万円と合せ、1億2,000万円で、患者、医師の動線等機能的な病院設計を行います。建設は、現六日町病院位置に平成26年度内の完成をめざします。

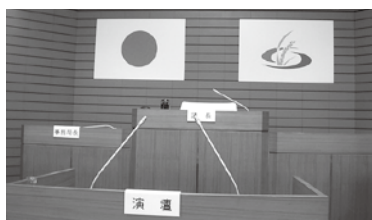
新市立病院の実施設計に4,000万円追加

主な歳入

- 障がい者自立支援特別対策事業補助金…………… 536万円
- 新潟県緊急地域雇用創出特別基金事業県補助金 971万円
- 新規就農者支援事業県補助金…………… 661万円
- 戸別所得補償経営安定推進事業県補助金…………… 709万円
- 新規就農総合支援事業県補助金…………… 1,050万円
- 農林災害復旧事業県補助金…………… 3,060万円
- 土地売却収入…………… 1億1,655万円
- 前年度純繰越金…………… 7,471万円
- 物件移転補償料…………… 1,803万円
- 市債…………… 3,500万円

主な歳出

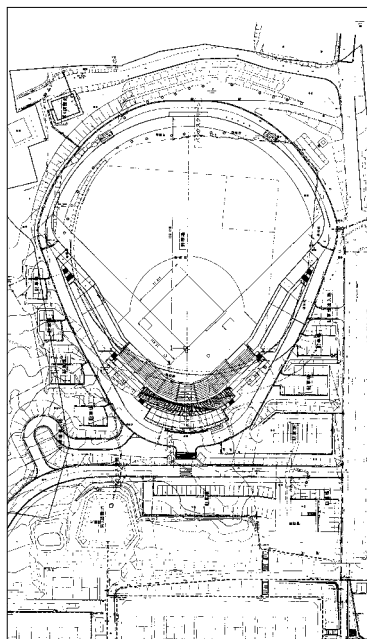
- 自立支援事業費…………… 715万円
- 総合的保健医療体制整備事業費…………… 4,000万円
- 可燃ごみ処理施設運営費…………… 2,360万円
- 農業振興対策補助事業費…………… 2,507万円
- 雇用創出事業費…………… 971万円
- 土地改良事業費…………… 4,535万円
- 八海山麓観光施設管理運営費…………… 639万円
- 個人住宅リフォーム事業費…………… 3,600万円
- 応急復旧費(単独)(豪雪災害)…………… 3,000万円
- 豪雨災害土木施設応急復旧費…………… 1,000万円
- 公共その他施設災害復旧費…………… 959万円
- 土地取得費…………… 7,541万円



議場に国旗・市旗を掲揚

以前より議会で協議を進めていた国旗・市旗を5月28日、全員協議会から掲揚しました。

- 総合支援学校大規模改造工事請負契約
契約金額 1億9,005万円
契約の相手 島田・高橋・丸川屋特定共同企業体
工事期間 260日間
- 総合支援学校体育館建設工事請負契約
契約金額 1億8,900万円
契約の相手 島田・高橋特定共同企業体
工事期間 260日間



- 大原運動公園野球場土木工事請負契約
契約金額 5億6,878万5千円
契約の相手 元店・カネカ特定共同企業体
工事期間 平成26年3月31日まで
- 大原運動公園野球場建築工事請負契約
契約金額 7億2,429万円
契約の相手 新潟セルテック・笹田特定共同企業体
工事期間 平成26年3月31日まで

今年度の主要事業であります、大原運動公園整備事業(3年間継続)及び総合支援学校(特別支援学校)の工事請負契約を締結しました

※大原運動公園関連は討論を経て賛成多数で可決(3ページ概要参照)

大型事業の工事契約を締結 大原運動公園整備の野球場関連、 総合支援学校関連

質疑応答

(抜粋)

質疑 ごみ減量化推進でデイスポーターの経済比較調査をするが、その内容は。

答弁 デイスポーターを使用して、下水道に流す場合に施設に負荷がかかることも考えられるが、実証実験の前に経済比較を行う。上出浦かみいずなでの実証実験では水質はどうかということだったが、今回は管路、処理場への影響が主だ。



質疑 新市立病院の実設計費が4,000万円追加になっているが、新六日町病院は一気に建てるのか。

答弁 市立病院については、副院長を中心に協議中であるが、総面積10,000㎡全体の中で動線を考える必要がある。医師の中では、一気に造った方がいいという声が大きいが、9月実施設計を発注したい。

質疑 可燃ごみ施設運営費の飛灰処理業務委託料について、飛灰はどこが受け入れるのか。九州方面に持つて行って、リサイクルできるのか。

答弁 そういうことです。

質疑 住宅リフォーム事業補助金が3,600万円追加になっているが、この分は県の補助なしで全額市の持ち出しだが、当初から見込んでいれば県の補助がついたのではないか。

答弁 5月23日現在で614件申し込みがあり、当初予算を上回ることで予想されるため、今回補正したが、これは1/2補助の事業だが、県内他市町村でもやっており、当初予算でまともでも、その分補助がついたかは

言い難い。

質疑 道の駅オープンイベントの内容とイベントの持ち方についてどう進めて来たか。

答弁 7月1日プレオープン、8日にグラウンドオープンを行うが、県知事等にも出席いただき、認定証授与、愛称公募表彰式、テープカット等を行う。また、ステージ発表等で盛り上げたい。

質疑 図書館建設事業費の中小企業整備費補助金が1,000万円減額になり、総額2億9,000万円になったが、今後これ以上六日町まちづくり会社への支援はしないという確約はとれたか。

答弁 取締役会とでその旨の覚書を締結している。

市が3億円の最大の出資者であるが、今後責任を求められることはない。株主という部分は残るが、倒産した場合にも株主が責任を負わなければならないというのではない。

質疑応答

(抜粋)

質疑 予算は3月議会で継続費を含め議決したもののだが、全員協議会、予算時点と内容変更はないか。

答弁 駐車場、管理棟の屋根の形状が変わったが、他は概ね変更はない。

質疑 野球場エリアで、事業費が入札の結果、どの位安くなったか。

答弁 駐車場、調整池も含むため、野球場エリアだけ抜き出すのは難しい。

質疑 発注は機械設備を分けられなかったか。

答弁 今回は、工事内容から建築と分けられない。

質疑 当初、新聞報道で8〜10億円と出て、本気かという声があったが、今回更に増えているが考えは。

答弁 当時、積算もな

い中で佐藤が池球場を参考にすればという話が独り歩きしたものだ。人工芝も将来的に必要だということも加わった。

い中、積算もない中で佐藤が池球場を参考にすればという話が独り歩きしたものだ。人工芝も将来的に必要だということも加わった。

原案反対

本議案への本来の討論からは少し外れるが、3月議会の予算修正案に賛成した者として異を唱えたい。新聞によれば行政・議会に不満を持つ国民は多い。議員も「民意」により配慮した上で議決をすべきだろう。

原案反対

どういふことで過度の施設でなくなつたかの説明がなく、その判断基準を求めたか。算の範囲内であればいいだけでは納得がいかない。

討論

●大原運動公園野球場
土木工事請負契約
建築工事請負契約

原案賛成

前反対者の反対の理由が分からない。今回は契約締結についてであり、通した予算の範囲内であり、その契約内容に齟齬がなく、反対する理由がない。

原案賛成

細かな数字は聞きに行けばいい。調べなくて、数字が出ないから反対だでは乱暴だ。その辺の調査も議員活動だ。

原案賛成

細かな項目を出せないから賛成できないという意見があったが、入札とはそういうものだ。各項目を云々でなく全体の中から総額として下げていくという今の入札のあり方を否定するのは容認できない。契約には何ら齟齬がない。



建設工事に入る大原運動公園野球場(万条球場)



市長選挙への 三選出馬を問う

答 地域医療の確立、豪雨災害の復旧をやり遂げるため立候補する

関 常幸議員

4年前の市長選挙は、野球場建設が問われた選挙で、民意は野球場建設の井口市長を選んだ。それにもかかわらず、この

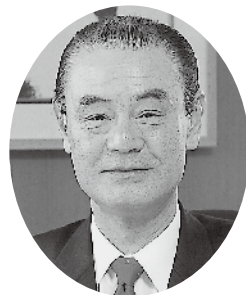
4年間「野球場建設反対」を切り口に、井口市政に難題を投げかけ、次の市長選挙、すなわち今年の11月には、野球場建設反対陣営から市長候補を出すという声が、常に底辺にあった。

柱と屋根だけでは、安心して暮らせない。戸や窓や台所は、そして、じいちゃん・ばあちゃんの部屋は、子どもの部屋はと、各々の年代に合う造作をしてもらわなくては、安心・安全に暮らすことはできない。言い換えれば、この4年間は、まさに一番重要な時期だ。

南魚沼市発足以来8年間、旧三町の融和・新市建設計画に基づく、均衡ある発展と財政健全化を進めてきた。そして地域医療の核となる「六日町病院」と「大和病院」の確立、昨年七月に発生した豪雨災害の復旧・復興を一日でも早くやり遂げなければならぬ。再度11月の市長選挙に立候補し、市民の判断を仰ぐ。



市長室



このたびの国道253号八箇峠トンネル内爆発事故でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、負傷されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

■保健・医療・福祉

子宮頸がんワクチン接種助成事業は、昨年度に引き続き

中学1年生を対象に実施します。本年から対象ワクチンが2種類となったことから、ワクチンの理解と子宮頸がん予防意識の高揚を図るため、医師による保護者対象の講演会とともに中学1年生男女対象の健康教育を開催しました。

■教育・文化

大原運動公園整備は、関係者のご協力により順調に実施設計が完了し、第1期工事のうち、野球場、駐車場、調整池等の工事手続きを進めています。図書館建設計画は、ラ・

ラ内のテナントとの退店交渉や構内移転交渉を進めるとともに、土地及び建物の買取調整を進めています。

■環境共生

可燃ごみ処理施設の延命を図るため「施設延命方針」を策定しました。現施設の稼働20年以上を目標として、適切な管理を行うとともに経費の削減に取り組んでいきます。

■都市基盤

新潟・福島豪雨による公共土木施設災害復旧状況は、災害関連工事を含む全80か所の

内22か所を完了し、現在、残りの58か所について工事中です。また、県及び直轄による災害復旧事業及び災害関連事業も、地域の皆様のご協力により復旧工事が進められています。

■産業振興

昨年の豪雨の農林災害復旧は、地元集落の皆様と協議を進めながら、補助対象箇所や工事費40万円未満の小規模災害箇所への復旧工事を順次発注しましたが、多くの工事が繰越となりました。雪消え後、

工事着手し、より多くの水稲作付ができるよう努めてきましたし、本年度の工事も順次発注し、早期復旧に努めています。

■行財政改革・市民参画

平成19年度に作成した南魚沼市財政計画は、昨年の東日本大震災や新潟・福島豪雨といった大災害の影響により経済状況が激変したこと等により、再度、見直しを行いました。

児童生徒の 通学路安全確保を

答 見守り隊実施と連携推進で



山田 勝議員

栃木県鹿沼市でクレールン車が登校中の小学生の列に突っ込み6名が死亡。亀岡市では軽自動車が同様に列に突っ込み10人が

死傷する痛ましい事故があった。その他にも交差点ルールを守りながら、登下校中の子ども達の事故が多発している。危険を認識したら、一日も早く対応し、通学路の安全確保を徹底すべきだ。

教育長

継続的な指導のもと各学校で安全マップを作り、危険箇所の確認とともに、保護者や教員・民生委員等のボランティアによる交差点での横断指導、登

下校等の見守り等を実施して頂いている。今後関係部署、団体の連携を持ち、安全の確保をする。

ジュニアスポーツの育成を

教育長

スポーツ推進計画が発表されたが、ジュニア世代からスポーツに親しむことが健康面、人間育成面、体力面から大切である。その活動を支える人的環境、施設環境、運営

組織を見直し整備をすべきだ。そのために『ジュニアスポーツ振興方策』を定めて進めてはどうか。

ジュニアスポーツ振興方策を策定し、小中学校の部活動のあり方を定める。各クラブの指導者の実態把握と支援が大切であり、今後進める。

「スポーツパラダイス」委託後も市の責任はあり、主体的に関わっていく。

総合支援学校に グラウンドを

答 必要性を認識



塩谷 寿雄議員

市でも、今年度『第二期南魚沼市障がい者計画』、『第三期南魚沼市障がい福祉計画』を作り、取り組んでいくが、障が

い者、障がい者の家族でもなかなか声を出したくとも出せない人も大勢いると思うし、どういった支援があるか、どこに聞いたらいいのか悩んでいる方も多し。どう意見が聞き、どのように周知していくかが大事だと思う。

市長

職員も関係する皆さん方も、障がい者の立場に立った考えをしていくべきであると思う。

塩谷

総合支援学校にグラウンドを造る考えは。

市長

用地、予算の問題もあるが、グラウンドは必要であるという認識である。実現に向けて頑張りたい。

障がい者にdoor to door支援を

総合支援学校が25年度に開校するにあたり、低床でリフト付きのバスを

2台購入する予定と聞いている。重度の障がいを持つ保護者には、この支援を望む声大きい。中学校までは義務教育であり、支援をするべきだと思うが。

市長

ノーマライゼーションの社会を創らなければいけないと考え、できる限りの支援を担当部署と考えていきたい。

※ノーマライゼーションとは

高齢者や障がい者など社会的に不利を受けやすい人々（弱者）が、社会で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来の姿であるという考え方。



冬期通学風景

月々5,000円の需要品を
なぜ市外の業者に発注するのか

答 この方針は条例改正でも
しななければ変えない



鈴木 一 議員

月々5,000円の需
要品をなぜ市外の業者に
発注しなければならない
のか。市長が常々地元地
元と言っているわけであ

るが、その考えが職員に
行き渡っているのか、は
なはだ疑問である。南魚
沼市の業者が市外の注文
を受けているという話は
あまり聞かないが、お人
好しにもあきれ返ってし
まう。

南魚沼市の業者が近隣
市町村から多く受注して
いるものがあつたら教え
ていただきたい。今後も
金額の大小を問わず、地
元でできないものは仕方
ないが、市外へ発注する

ようなことがあれば許し
難いことである。

机上では「地元企業の
景気対策を」と唱えなが
ら、現実にはあべこべの
政策としか考えられない。
私は、杉原千畝^{ちうね}とい
う人が好きである。第2次
大戦中、国の命に反し6、
000人ものユダヤ系難
民にビザを発給し、ナチ
スドイツからの迫害から
救った人である。

市職員も自分の貯金を
残すのではなく、名を残

す人になってくれること
を望む。このやり方は、
市職員給与が高いから安
い人を採用するかという
ことと同じではないか。

市長

価格差があれば当然そ
ういうことになる。

議会全員の意見がそ
うなら考えなければなら
ない。議会の決定を受け
執行する。

市職員採用は別次元だ。

財政計画は将来見通しが
甘いがどう進めるか

答 社会情勢に合わせ
検証しながら進める



佐藤 剛 議員

大災害、依然厳しい経
済情勢、人口減少時代の
収入減。反面、行政サー
ビスの多様化等を背景に、
財政計画が変更されたが、

多くの収入財源の見通し
を現状額で固定化し、
20億円に抑える投資的経
費は、各事業計画掲載事
業との整合性はない。財
政計画は的確な見通しで
市民の安心になるが、誤
れば、将来の負担にもな
る。計画が大雑把過ぎな
いか。甘いか妥当か、ど
ちらにしても行革大綱に
沿って、事務事業の評価
見直しをする体制が必要
でないか。

市長

人口減少、雇用の減少
等を前提に推計している
が、国も地方財政確保を
進めると考える。各事業
計画の事業は、具体化し
た時点で実施計画で優先
順位をつけ進め、事業は
社会情勢等に併せ検証し
改変、廃止も考えていく。

住環境整備を
どうすすめる

核家族化と高齢化が進
む中、高齢者が安心して

住める高齢者住宅の必要
性と、六日町地区の地盤
沈下が止まらないが、中
心地がドーナツ化現象に
なりかねない。今後の対
応は。

市長
高齢者の住宅問題は太
きな検討課題として進め
る。

地盤沈下は有効な対策
がないが、節水に努力し
ている。太陽光発電や蓄
電池の開発を考えたい。



老人世帯の住環境整備を



公僕とは

3選出馬に向けた 市長「理念」を問う

答 職員研修、人の縁等を重視

中沢俊一 議員

市長の3選出馬表明に当たり、以下4項目について「理念」を質したい。
①市の最大の経営資源である市職員の、市長へ

の進言が年間わずかに2〜3件とか。異常だ。職員能力を活かす理念を示して欲しい。

②確かな職場があつてこそその市民生活だが、市民憲章の柱「ものづくり」を活かした働く場確保に、市の主体的な取り組みが見えない。

③多大な予算で野球場が造られる年だというのに、六日町高校野球部の新入部員が、異常に少ない。理念と手段が

噛み合っていない。

④市民の、市政への参画をどう考えているか。全国アンケートによれば、行政・議会への不満や不信を抱える国民は、7〜8割を超えている。対案を示す市民活動の処遇に不都合はないか。

ことを職員に論じている。

②企業進出には人間関係が多く寄与してきた。電産コバル誘致には市長の意向を盛り込んだ。
③新入部員は7人と聞くが、六高野球部に市内出身者は少ない。
④市民の参画は重要だ。反対を唱えるだけでなく、対案を持つ活動に期待する。



地域の子ども達にこそ 農業体験の制度化を

答 実現させたいという思いで
検討したい

林 茂男 議員

農繁期の畦端でのお昼の家族の団らん風景や子ども達の手伝いの姿は、今や完全に失われた。一方で、皮肉なことに

都会の親子の楽しそうな「農業体験」の風景がある。地元の小学生は学校田での幼稚園児のようなお遊び体験が闊の山。今や田も川も冬のスキーム都會の子どもに逆転されている。これで良いのか。地域の誇り、未来にかかると根源的な問題である。

①最農繁期の5月下旬に運動会が行われているが、手伝いの場や機会を奪っている面もある。
②かつての「田植え／稲

刈休み」を模した「農業体験」制度を設け、地域の方々と協働し教育的に取り組むべきだ。
③学校田の拡充をはかり各学校ブランド米として特産品化する。道の駅等を利用して子ども達に生産から営業、販売の過程を学ばせよう。

教育長
①学校運営上、最良の開催時期だが、指摘の面も理解できる。校長会等でも検討したい。

②「学習指導要領」の改訂で授業時間が増え、学校行事で進めるのは難しい。しかし、教育委員会による子ども対象の事業の中で考えることができないかどうか、実現させたいという思いで検討したい。

③ブランド米となる程の量や質は期待できないと思うが、地域の皆さんが「やる」というのであれば弱音は吐けない。一緒に研究する。



機械音だけが響く農作業。子どもの声は無い

南魚沼市政運営を問う

答 健全な市政運営に尽きる



若井達男議員

財政健全化5か年計画は、103%の達成で平成22年度に終了した。
①今後の財政運営はいかに。

②300年に1度といわれる豪雨災害であった新潟・福島豪雨災害の復旧見直しは。

③大原運動公園整備事業の野球場建設費が初日の本会議で賛成多数で議決された。建設費には合併特例債があてられるが、他の事業に充当できるか。

④市長選3選に向けて選挙で市民の判断を得るという市長の政治信条はいかに。

市長

①平成19年度に作成した「南魚沼市財政計画」に基づき運営してきた。

②市内のいたる所が被災した。激甚災害指定を受け、復旧工事は順調に推移している。平成24年度末には発注している復旧工事は完了するよう進めている。

③合併特例債は、新市建設計画に基づいた運用である。よって、野球場建設費は他には使えない。

④自らを戒めながら、決断と実行、思いやりの心を持って市政運営に今後も当たる。



議場の市長席

「三元代表制」についての見解を問う

答 必要不可欠な制度である



今井久美議員

憲法で謳っている地方自治の根幹「三元代表制」についての見解を問う。

市長
地方自治体運営で必要

不可欠な制度。首長、議会双方が緊張感を持って堅持していくべき。地方議会において首長を支援する、しないはあっても、与党、野党ということは本来存在しない。南魚沼市議会は修正動議も出され、それぞれ反対討論もあり、健全に機能していると思う。

今井

関連して、かつての国政選挙等で旧六日町において、過去のいろいろな

市長

しがらみで力が一つにならないジレンマを感じた。議員になって、議員、職員の間にも「あつちだ」「こつちだ」という話もあり残念に思った。11月の市長選挙には寛容な精神で挑んでもらいたいがどうか。

市長

旧六日町も含め、国政、県議会選挙に端を発した地区を二分した激しい対立や勢力はあった。過去の町長選、市長選もあった。

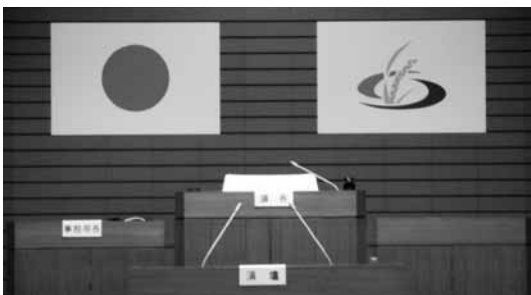
今井

だが、もうそうした意識での選挙をしたくない。想いはずっと持っていた。できれば今回が、そういうことから脱却した選挙になればと思っている。

(株)電産コパルの進出で雇用対策は。

市長

昨年の募集で同社は採用に難儀をしたようだ。業種、人数が具体化したから、新卒採用に市と教育委員会をあげて努力する。



論戦の場の議場

老人保健施設の整備方針を問う

答 きちんちやっこく



笠原喜一郎 議員

① 少子高齢化・人口減少社会を見据えて3点問う。
② 市立病院再編計画の中で、「地域における医療ビジョンは地域の医

師が策定する。そして、責務は地域の医師が負う」とある。この宣言は、大変重い決意であり、敬意を表す。計画の中に挙げられている老人保健施設について問う。

② 少子化の原因の一つである非婚化対策として、まちの活性化と出合いの場として「街コン」を活用すべきである。
③ 高齢者のみの世帯や一人暮らしの人がごんど

ん多くなると予想される。サービスパ付き高齢者向け住宅の感想は。

市長
① 老人保健施設は、きちんとやっていく。広域型であるので、県や近隣市町の合意が必要だ。「介護保険計画検討委員会」の委員に大和病院の宮永院長から就任していただき、つめていく。

② 結婚相談などということには行政は直接的に

介入できないが、出会いの場を設けることなどは積極的に取り組んでいく。

③ 住宅政策を2年間かけて検討していく。介護保険に該当する施設となれば、保険料の大幅値上げとなる。歳をとっても安心して暮らせる施設として、サービスパ付き高齢者向け住宅など大いに期待している。



国保の広域化は命を守れるか

答 国保の広域化だけでは解決にならない



岩野 松 議員

① 国保危機の根本原因は、国庫支出金が30年前に比べ、57・5%が25・6%に下がったことではないか。元に戻す運

動が必要だ。市は今年も値上げしない決断をした。評価するが、せっかく予算化した一般財源分を活用し、値下げに使えないか。
② 政府は県単位の広域化法案を成立させた。どう考えるか。
③ 国保は命と健康を守る。皆だ。見解は。

市長
① 考えていない。制度の歪みで、国の責任は額的には満たしている。

② 国保だけを都道府県単位の運営する広域化では構造的解決にはならぬ。健保や共済を含めた医療保険制度の一本化をするべきだ。
③ 最後のセーフティネットと認識している。

原発は再稼働すべきか見解は

柏崎刈羽原発再稼働に湯沢町長や妙高市長のよう

考え方や自然エネルギーへの取組みは。市長
公人としては、100%危険性のない電力で賄えれば原発は必要ない。例えば現場の労働者問題や液化天然ガスを2兆円余計に輸入し、太陽光実験の調査結果が6月中旬に出る。蓄電池開発中など模索している。風力は難しい。他は水力・地熱だが、これでやれるという切り札はない。



消雪パイプリフレッシュ 事業の推進を

答 見直しの対象として
検討する



小澤 実議員

市の消雪パイプの路線は旧町時代のボーリング配管がほとんどであり、経年劣化で送水管・配水管・ポンプの交換をしな

いと水量が確保されず機械除雪になっている道路がある。平成20年より「消パイリフレッシュ事業」により約1億円で悪い所から修繕をしている。近年、春先の雪戻し・雪山くずし・ダンプ排雪の費用が急増している。平成21年度7、533万円、22年度1億8、533万円、23年度2億2、981万円であり、この経費を減じて消パイ事業に向

市長

内部協議がまだ整っていないが、経済的・効率のかつ地権者の理解も含め、見直しの対象として検討していく。地盤沈下区域内は、今の条例のままではボーリングができない。この解決策も必要だ。

地域づくり協議会 へ予算増を

地域づくり協議会が発足して5年目に入り、各

地域で特色ある事業がなされている。地域住民が主体となり、協働の力で成し遂げようという意識が高まっている中、予算枠を増やし、地域の活性化につなげられないか。

市長

発足当初から予算が多いと思っていない。将来的に1億2、000万円位にしたい。本年度は、人口割の傾斜配分とした。予算枠増を毎年工夫し、検討している。



排雪作業

災害時の 緊急告知整備を

答 総合的な観点で検討する



黒滝松男議員

①市では平成22年度、行政区长・公共団体・施設に約580台、23年度には大きい行政区に約120台を配布、今

年度は更に役員数の多い行政区に1、000台を配布予定である。全戸配布には、概算で1億4、000万円ほどの費用が必要だが、市民の安全・安心を守るため防災ラジオを全戸に配布すべきでは。

②緊急メール配信システムは、今現在の登録者数が約3、200件である。携帯電話での情報確認は大変有効であるが、一般市民にさら

市長

に告知し、登録者の拡充を図るべきでは。

①まず、防災ラジオは一部浦佐地区の難聴を解消しなければならぬ。②メール配信の登録者3、200件のうち一般市民が約2、000件である。

いずれも、緊急時の情報確認、初動対応に大変重要なので、24年度中には総合的に検討し、方向性を出したい。

ふるさと納税の 拡充を

平成23年度、市のふるさと納税は6件で26万円であった。納税者に市の特産品を進呈し、南魚沼市を全国的にアピールするべきでは。

市長

市内の寄付者には特産品を進呈していないので難しい。首都圏旧3町人会等でお願ひし、機運を高めたい。



防災ラジオ

市は街づくり会社との 関わりをなくせるか

答 予算執行の前提は整った



岡村雅夫議員

「ララ救済と取られても負の遺産は解消する」「取得費、補助金、移転補償料で6億5,000万円、これ以上は投入

しない。担保されなければ予算執行しない」

「役員を引き揚げ、かわりを無くするよう取締役会で確約を取り付ける」というが、第三セクターで可能か。

地主に計画の了解を得ているか。地上権では将来の利用計画は立てられない。図書館の条件を満たしていない。計画を中止し、街づくり会社(株)の再生を優先すべきだ。

市長

道義的責任での3億円支援だ。「今後財政的支援はもとめない」と確約書を交わし議決。予算執行の前提は全て整った。

地主には話していない。購入も願うが、ダメでも地上権であっても撤退の理由にならない。

基幹病院起工で 市立病院は

「市立病院群のあり方」が公表された。病床減で療養型病床が不足だ。老

健施設が必要だ。

大和病院が、浦佐駅に近い位置に提案された。基幹病院と廊下で繋がるという従来の説明と違う。

市長

将来の方向性は確認できた。宮永院長を中心に、六日町は廣田医師、大和は松島医師で進める。老健施設は調整をする。

「廊下で繋ぐ」は、知事の肝いりで、旧大和時代の保健医療福祉の息吹を吹き込んでもらいたい。



基幹病院工事現場

再生可能エネルギー 積極的に取り組むべき

答 現在までも積極的に進めているが更に努力する



樋口和人議員

南魚沼市では、平成18年2月に「南魚沼市地域新エネルギービジョン」を策定している。それを受けて市では、更に「バ

イオマスタウン構想」を策定し、その実現に向けて施策を講じている訳であるが、昨年の東日本大震災、更に福島原発事故を受け、太陽光発電や風力、小水力といった再生可能エネルギーについてもその活用についても積極的な活用について積極的に活用していく。

市長

それぞれの分野について

健康診断の充実を

てできることから進めている。今までの調査で活用が困難との結果が出ているものもあるが、昨年以來、情勢が変わってきている部分もあるので、更に積極的に活用すべく努力していく。

市では、中学1年生に

対して血液検査による生活習慣病等の健康診断を実施している。全国的に

も実施している自治体が少ない中、素晴らしい施策だと考える。生活習慣病は、子どものうちに指導すると3か月後には約60%の子に改善が見られるという。そこで診断後の指導、経年での調査等の充実を図るべきと考えるが。

教長

現在でも全国に誇れる検診と自負しているが、今後も積極的に検討実施をしていく。



南魚沼市の文化財政策を問う

答 新図書館での公開を検討中



井上 智明 議員

現在南魚沼市にはユネスコ世界無形文化遺産(1)、国指定文化財(4)、県指定文化財(18)、市指定文化財は(102)

と大変たくさんさんの貴重な文化資産が存在する。しかしそれを知っている人は極めて少数で、保護保存も僅かな人達によって細々と守られている。生きることに精いっぱいいる時代とは異なり、現在は文化的資産の大切さが見直されている。そこで次の3点について問う。

- ① 無形文化や技術を継承するには多くの時間と費用が必要である。予算措置は。
- ② 文化財の発掘や調査には極めて膨大な人員を必要とする。職員体制の見直しは。
- ③ 貴重な文化財も知られなくては宝の持ち腐れである。新図書館での公開など、市民に知らしめるための政策は。

教育長

①市の予算については充分とは思っていないが、無形文化財については国、県からの支援もあり継承に支障がないと



若宮八幡宮のお神楽(一村尾)

- ② 人員配置については当分の間、現体制で頑張りたい。特別な場合は臨時職員での対応を考えている。
- ③ その方向で考えている。図書館での公開は研究中だ。文化財のデータ化するのに時間がかかるが、ぜひやりたいと考えている。

震災がれきの広域処理は

答 協力できることがあれば協力したい



関 昭夫 議員

東日本大震災に伴うがれきの広域処理について市長はどのように考えているか。

市長

溶融炉のピットに余裕はあるが、自前の最終処分場がないため焼却灰の処分ができない。市内のごみの焼却灰の処理にも苦慮してきた。国が対応してくれなければ、最終処分場を持たない自治体は協力したくてもできない。

関

知事は岩手県大槌町のがれきは低レベル放射性廃棄物として扱うべきだ

と言うが、汚染が同程度の南魚沼市のがれきも同じように管理しなければならぬということになる。市長はどのように考えるか。

市長

県は元々あったものと新たに持込んだものは別だとの見解のようだが、ダブルスタンダードでなく同一に考えてもらわないと困る。同じ基準を持ちながらやっていかないと難しい。

関

国、県、市町村ではばらなことを言っているのは市民の信頼を失っているばかりだ。安全基準も信用されなくなっている。

市長

国がきちんとした基準を早く設けて説明し、国民が納得してもらえれば策をとらないと長引く。全国市長会でも国に意見を上げていく。



石巻市 がれきの山

地域コミュニティが担う防災活動とは

答 防災地域コミュニティの役割は現在検討中



腰越 晃 議員

広域に及ぶ自然災害において、地域コミュニティが担うべき防災活動は数多くある。「地域防災計画」に追加すべき。

市長

自主防災組織の範囲を超える広域の自然災害に対する地域コミュニティが担う活動は、現在担当部署で検討中であり、まとまり次第、各コミュニティにお願ひしていきたい。「地域防災計画」への記載は、原子力災害の追加の改定の際になる。

「生きる力の教育」とは

新学習指導要領には、

「生きる力の教育」とそのための領域家庭を包含した教育の方針が明記された。市の考えと事業は。

教育長

各学校及び子ども若者育成支援センターを通じた生きる力の教育、様々な子育て支援施策等を通じて実施している。

腰越

「生きる力」の教育は、「しっかりと働き、家庭を持ち、子どもを育てて地域社会の役割を果たし、

より良い社会に変えていく力」であると思う。世代を超え、年齢層のための生きる力の教育が必要であり、一例として、そのための教科書を市で作成することを検討できるか。

教育長

そうした教育の必要性は理解できるが、学校教育に重点を置く現在の教育制度があり、市でそうした教科書を作成することは難しい。



南魚沼市財政計画を問う

答 現状に合わせた計画となっている



桑原 圭美 議員

①市税の落ち込みに対する財源確保と、企業進出の影響は。
②市内での消費を促進する政策が必要だが、補

助金の継続の方向性は。

③増大傾向にある生活保護費の実態は。

④産婦人科や小児科は要望が高いが、不採算医療として切り離しはな

⑤国民健康保険の公平な収納作業と誠実な対応は行われているか。

⑥市民の負担が少ない特別債を社会資本整備に使うべきである。また、送迎時の負担等の理由で保護者から要望の多

市長

い陸上競技場・総合体育館などの整備についてどう考えるか。

①都市計画税を減額した部分の確保はまだ未定であるが、消費税は計算に入れていく。コパ

ルの社屋建設や雇用数の150〜300人という数字は大変大きい。

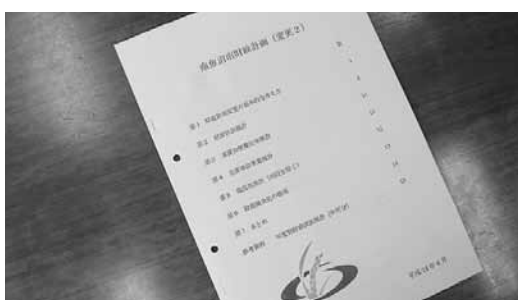
②リフォーム資金補助は効果が大きい。利用の実態を調査した上で継続して行きたい。

③我が市では適切に対応しており、不正受給もない。

④今後は不採算であっても基幹病院等で充実させて行く。

⑤理不尽な滞納には厳しく対処するが、納付が難しい方には適切に対応している。

⑥特別債は財政的に有利である。スポーツ施設も検討する。



財政計画 変更2

柏崎刈羽原発再稼働 どのように考える

答 国による原発の安全確保
できてから



牛木 芳雄 議員

関西電力大飯原発3・4号機の再稼働が決定された。いまだに福島原発事故の検証も終わらない中で再稼働だ。多くの

国民は不安を禁じ得ない。やがて、柏崎刈羽原発の再稼働の問題もやってくるだろう。原発近隣自治体の首長として再稼働をどのように考えるか。

市長

福島第1原発事故が検証されて、国が専門的、技術的な面からも安全確保を行い、国民が安心して暮らせるような環境を整えれば再稼働もやむを得ない。停止中の原発立地地域で商売をしている方々に

「再稼働させない」という論調は、我々に死ねとやっていると同じ事だ。」との報道があった。だから再稼働とは別に、私達もこの悲痛な声も真摯に受け止める必要がある。何の対策も取らないで再稼働「する」「しない」の議論は無い。

小学校の少人数 学級の取り組みは

県では国に先駆け1・2年生で30人程度学級の

教育長

3年生以上、市全体で4人の教員を雇用できれば少人数学級ができるが、現在学校から要望の多い介助員、特別支援助手、日本語指導助手等を雇い入れている。

若者・青年のための 音楽イベント開催を

答 企画によっては支援する



牧野 晶 議員

三条市では「楽音祭」、柏崎では「風の陣」、十日町では「豪雪ジャム」というように市が関わる若者向けのイベントを近

隣では開催している。

若者・青年が参加するイベントは市の魅力アップすることになる。音楽イベント開催への研究をするべきではないか。

市長

若者の参加するイベントは地域の魅力アップになる。賛同できる企画があれば市は補助をしてゆく。

特定規模電気事業者 (PPS)の研究を

東電などの電力会社ではなく電力自由化で新規参入した特定規模電気事業者について研究してはどうか。南魚沼市には、県内で唯一、土地改良区所有の発電所がある。この五城ごじょう発電所が現在、東北電力に売電しているが、これを市が直接購入したり、電力自由化で新規参入した特定規模電気事業者をとおして購入したりすることはでき

市長

五城土改について、発電所の性質上難しい点もあるし、余剰電力があるかは不明だが、クリアできれば電気代節約の可能性もある。検討してゆく。



塩沢まつりでのイベント



柏崎刈羽原発

ピロリ菌検査助成で 胃がん対策の拡充を

答 国へ要望した中で対応を
考えたい



中沢 一博議員

今後のがん対策推進に
ついて次の4点を伺う。
①データに基づき適切な
「がん登録」の法制化
を求めるが。

② 「がん就労」という

社会的問題の中、どう
検診率向上へ支援し、

取り組むか。また、子
育て中の母親に積極的

に検診を受けてもらう
ため、託児サービスを

実施してはどうか。

③ がんで一番多くかかる

胃がん。その原因の一
つは、ピロリ菌である。

除去させることで撲滅
できることがわかった。

検査費用を助成する中
で医療費も大幅に軽減

されるが。

④ 「健康推進宣言都市」

(仮称)を宣言し、市
民へ健康の大切さを発

信しては。

市長

① 一日も早い法制化につ
いて市長会を通じて国

へ強く働きかけたい。

② 受診率向上のため、乳

がん検診を広域連合で
取り組む。土日にも設

定する。40歳に無料

クーポン券を発行し、
働き盛りの方が受診で

きるよう力を入れてい

く。「託児サービス」

は検討させたい。

③ ピロリ菌除去の保険適

用を国へ働きかけたい。
保険適用が認めない時

は、それなりに考えな

ければならないと思っ
て入る。

④ 市民へ広く知ってもら

いたい意味では、大き
な手法だと思う。宣伝

するに適當か否かも含

め検討させてもらいた
い。



塩沢公民館の修繕を 急げ

答 できるだけ急いでやる



寺口友彦議員

5、906世帯、19、
283人の塩沢地域唯一
の塩沢公民館は、大規模
改修が遅れている。使い
勝手が悪いと苦情が多い。

市長

市民センターを引越し
する案があり、改修が遅
れた。耐震補強を含め、

急いできちんとやる。

寺口

市内の全ての公共施設
で維持・修繕・更新の費

用を算出し、計画的に修
繕を行っているか。

市長

それぞれでやっている
が、市全体計画ではない。

寺口

改修の期限は決まって

いるのか。

市長

新市建設計画にはある
が、いつまでとは明記し

てない。急いでやる。

農業問題は環境問題だ 環境条例を作れ

農地集積のための「人・
農地プラン」にもれた土

地をどうするか。

市長

国から4月に示された
ばかりで、取組みが遅れ

ている。認定農家を中心

に集積が進む大変良い施

策と評価する。もれた農

地は、市が単独で支援す
る。

寺口

農地を守るとは山紫水
明の土地を守ること。個

人と地域と市の役割を明

記した環境条例を作れ。

市長

戸別所得補償で個人は
守られる。農地・水・環

境保全に続く良い施策だ。
条例まで作るべきかを含

めて研究する。



塩沢公民館

総務文教委員会

産業建設委員会

○期日 平成24年4月25日

○調査内容

①学区再編について(含現地調査)

城内・大巻・五十沢中学校「教育を考える会」では、4回の全体会と2回の地区部会を行い、結果、「統合はやむを得ない」という意見集約となりました。現在のデメリットは、部活動の活動が制限されることと、教員がいないため部自体を開設できないということでした。市では、全関係地区に結果を配布し、保護者に説明・周知しました。今後は、教育委員会と方針をしっかりと固め、地域、議会と相談しながら進められます。第一上田、第二上田小学校「教育を考える会」では、しばらくは2校連携して共生することとし、複式学級の可能性が出たら再度検討することとなりました。

②大原運動公園整備について

1期工事のスケジュールが説明され、工事発注区分である右側工区(野球場)は、土木、建築、電気設備(強電)、電気設備(弱電)の4本に分けられ、6月議会契約案件で上程されます。変更点は、駐車場が1期工事で当初の計画より6台減の294台となりました。このほか、野球場管理棟の屋根形状と、建物の壁が放射状になりました。照明は、コンク

リート柱2本立てで4基となります。

③図書館建設について

平成23年度以降の図書館建設に係る委託料等の執行状況
・実施設計(途中経過)における細かいレイアウト変更の可能性
・今後のスケジュールでは、平成24年度上半期実施設計、平成24年度ラテナント移転交渉と建物敷地一部取得、ワークショップ開催、平成25年度春に建設着手、冬に図書館竣工、平成26年度開館予定などが説明されました。

その他、税制改正、スポーツ推進計画、総合支援学校について調査しました。



五十沢中学校

○期日 平成24年4月24日

○調査内容

①畔地浄水場について(含現地調査)

水道料金が高額となっている主な理由は、三国川ダム建設負担金等を含む水道施設建設事業費が当初予定の179億円から342億円に拡大したことにより、旧広域水道企業団の起債残高は平成24年度末で、約85億円が残っています。現在浄水場運転業務を民間企業に委託するなど、事業費の低減に取り組んでいます。

②コメ作付けの状況について

3月末時点での豪雨災害農業施設復旧事業の進捗状況は、発注件数で1,276件で工事費は22億9,700万円です。作付け不能農地(5月末までに復旧工事未了)は、30行政区、約66ヘクタールの見込みです。

平成24年度の生産調整(転作率)は、当初は大和・六日町地域で33.1%、塩沢地域で35.8%、市全体で34.1%の配分だが、福島県との県間調整により、大和・六日町地域が24%、塩沢地域が32.3%、市全体で26.9%に軽減されます。

生産調整をした場合としない場合における収入の差異に関する質疑において、1ヘクタールの耕作面積比較で、戸別所得補償をもらわなかった場合は154万8,000円の収

入だが、地域間調整を利用し、戸別所得補償をもらった場合は156万4,200円の収入となる試算があります。これに基づき生産調整の実施・戸別所得補償の利用、県間調整を進めています。この試算は、1俵18,000円、転作率33%、地域間調整拠出金36,000円/10ヘクタール、個別所得補償定額部分15,000円で試算しています。

③六日町街づくり株式会社について
これまでの同社の経緯と現状について、平成23年度までの経営改善計画の実施と結果、そして今年度策定された図書館の設置を前提とした経営計画等について調査し、今後も引き続き調査の継続が必要であるとの認識で一致しました。

他に、今シーズンの「スキー場及び旅館の入り込み状況」について調査しました。



畔地浄水場

社会厚生委員会

○期日 平成24年4月23日

○調査内容

①障がい者計画及び福祉計画について(含現地調査)

「まきはたの里」の現地に赴き施設の内容や障がい者の実生活などや施設の説明を受けました。明るく立派な体育館があり、学童保育も行っていきます。

②デイスポーターについて

(含現地調査)

城内の上出浦集落では、ごみ減量化の目的で台所の排水口にデイスポーターを設置し実証試験をしています。集会所にあるデイスポーターを現地調査しました。下水道との関係や、有機肥料への活用などまだまだ課題はありますが、ここでは下水道が合併槽でもあり、問題点は聞かえず評判は良いようです。

③リサイクルセンターについて

(含現地調査)

昨年の水害後の経過について説明があり、利便性を考え比較的下の電気設備などを高上げし、水没しても守る設備にしました。今後の水害対策はコンサルに委託中。処理状況は、搬入受け入れを8月5日から始め、8月中に処理開始されましたが、破砕系・ビン選別運転は12月運転開始となりました。



「まきはたの里」体育館

④ごみ減量化について

三町合併時からみると、可燃物が80%、不燃物が63%になり、減量化は進んでいます。紙類51%、生ごみ16%で可燃ごみの大半を占めています。紙類は汚れているもの以外は全て資源ごみに、水分の多い生ごみ削減は可燃施設の負荷と燃料費の削減になり、施設延命になります。削減への取り組みとして、デイスポーターの普及を考えています。

その他、南魚沼市2期障がい者計画と3期福祉計画の説明を受けました。

地域医療対策調査特別委員会開催 …基幹病院着工、市立病院の今後は？

8回目となる「地域医療対策調査特別委員会」を5月21日に開催しました。5月11日には、起工式/安全祈願祭が執り行なわれ、魚沼基幹病院(27年6月開院予定。病院長には元新潟大学医学部長、現在は同大学医歯学病院長を務める内山聖氏が内定)の建設工事が本格的に始まりました。

今回の調査特別委員会では、以下の2項目について調査しました。

●「市立病院群のあり方」について

医療関係者の皆さんで構成する「病院のありかた検討委員会」がまとめた基幹病院開設後の当市の市立病院のあり方について提言がされました。

六日町・塩沢地区を対象とした新病院、規模を縮小して大和地区に残るゆきぐに大和病院。これらをどうするか、医療現場の側で考えた「あり方」。基本理念、役割や機能、整備方針が示され、その内容には「地域医療のビジョンをつくり将来展望を示し自前の医師確保をめざす」(そのビジョンは)地域の医師が策

定し、その責務を負う」等、意気軒昂な熱い思いを感じました。

●新六日町病院の整備について

基幹病院設置後に県から移譲される市立化される六日町病院(一次医療と軽度の二次までを診る。現在の199床から120床に)の整備案。当初は段階的な現敷地内での増設や解体・新設を含めた案でしたが、「できれば一気に新設したい」とする医師側の要望(現病院の位置で約40億円の投資規模)もあり、再検討されています。

市は県に耐震化やリニューアル工事、建物や医療機器の無償譲渡、土地借地料の無償化、医師派遣や運営システム面など初期投資の支援を要望。県による当初の補助金・品の多寡が、その後の経営に大きく影響するため重要な協議課題となっています。

また、当初の合併事業としてはなかった病院建設を合併特例債事業に追加できるよう、その認可を求めて総務省との協議も開始されています。

桑原圭美	林茂男	鈴木一歩	塩谷雄実	小澤実男	黒滝松博	中沢一博	山田勝政	今井久美	牧野晶歩	佐藤剛民	寺口彦幸	関常幸	井上智明	樋口和人	関昭夫	腰越晃	阿部俊夫	阿部久夫	牛木芳雄	笠原喜一郎	中沢俊一	岩野松	岡村雅夫	若井達男	松原良道
政	歩	歩	歩	み	み	み	政	政	歩	民	民	み	み	み	政	政	政	歩	民	か	か	共	共	み	み
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

その他全会一致で可決した議案

- 専決処分した事件の承認について（南魚沼市税条例の一部改正について）
- 専決処分した事件の承認について（南魚沼市都市計画税条例の一部改正について）
- 専決処分した事件の承認について（南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について）
- 専決処分した事件の承認について（平成23年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第4号））
- 新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 南魚沼市児童センター条例の一部改正について
- 南魚沼市墓地等の設置場所及び構造設備の基準に関する条例の制定について
- 南魚沼市工場立地地域準則条例の制定について
- 人権擁護委員の候補者の推薦について（阿部正廣・齋藤マキエ）
- 公用車事故に係る損害賠償の額を定めることについて

会派名称

歩：歩む会
 み：南魚みらいクラブ
 政：市政クラブ
 民：市民クラブ
 か：かたくり
 共：日本共産党議員団

（単位：円）

会派名 (人数)	収入の部 交付額	支出の部					計	内 容
		調査研究費	資料費	広報費	会議費	事務費		
市民クラブ (3人)	360,000	203,709	0	163,012	0	0	366,721	<ul style="list-style-type: none"> ● 視察 平成23年4月21日 ● 長野県上田市 医療法人友愛会 千曲荘病院：ニュークックチルについて ● 視察 平成23年7月7日～8日 ● 群馬県下仁田町：有害鳥獣対策について ● JA 長野厚生連佐久総合病院：地域の医療機関との連携の実情と課題について 他 ● 長野県庁：特定鳥獣保護計画について ● 視察 平成23年11月9日～10日 ● 山形県東根市：さくらんぼタントクルセンターについて ● 山形県置賜広域病院組合公立置賜総合病院：地域の基幹病院と周辺医療機関との連携とスタッフ確保について ● 山形県米沢市：共同アウトソーシングの取り組みについて ● 視察 平成24年1月19日 ● 新潟市：社会体育施設のオンライン予約システムについて ● 助亀田郷地域センター：亀田郷農産物生産加工販売戦略会議について ● 視察 平成24年3月23日 新潟県主催：中山間地域活性化シンポジウム ● 視察 平成24年3月28日 ● 東京都江戸川区：体育会登録のスポーツクラブへの区の補助について ● 東京都江戸川区：区立西葛西図書館について ● 会派広報紙発行
かたくり (2人)	240,000	278,740	51,580	0	0	0	330,320	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成23年4月7日 PHP 研究所主催セミナー参加：「環境問題から地域経済の活性化を考える」 ● 平成23年7月14日 地方議会議員の今日的役割と課題セミナー参加 ● 平成23年7月26日 PHP 研究所主催セミナー参加：「温泉を活用しての地域の活性化」 ● 平成23年10月26日～27日、11月29日～30日、2月21日～22日 PHP 研究所主催セミナー参加：「地域経営時代のビジョンと戦略を描く」「地域経済活性化戦略の考え方」「行政組織を議論の場に」 ● 視察 平成24年1月19日 ● 新潟市：社会体育施設のオンライン予約システムについて ● 助亀田郷地域センター：亀田郷農産物生産加工販売戦略会議について ● 図書購入
日本共産党 議員団 (2人)	240,000	116,760	0	253,682	0	42,588	413,030	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成23年7月23日～25日 第53回自治体学校 in 奈良 参加 1日目：全体会 2日目：分科会・講座 3日目：特別講演 ● 会派広報紙発行
計26人	3,120,000	2,672,794	122,140	575,910	0	42,588	3,413,432	

6月議会の全議決結果

表中の記号について

○ = 賛成 × = 反対 - = 欠席

(※議長は議案裁決に加わりませんが、同数の場合は議長裁決となります。)

議員氏名 (議席順)	
会派	
採決結果	

◎議案

専決処分した事件の承認について (平成23年度南魚沼市一般会計補正予算 (第8号))	承認
平成24年度南魚沼市一般会計補正予算 (第1号)	可決
平成24年度南魚沼市病院事業会計補正予算 (第1号)	可決
工事請負契約の締結について (大原運動公園野球場土木工事)	可決
工事請負契約の締結について (大原運動公園野球場建築工事)	可決
財産の取得について (ロータリ除雪車2.6m級)	可決
財産の取得について (ロータリ除雪車2.6m級)	可決
財産の取得について (高規格救急車)	可決
工事請負契約の締結について (総合支援学校大規模改造 (建築) 工事)	可決
工事請負契約の締結について (総合支援学校体育館建設 (建築) 工事)	可決

◎請願・陳情

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願 (請願者:新潟県教職員組合 南魚沼支部 執行委員長 山本未知雄) (紹介議員:牛木芳雄)	採択
水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める陳情	採択

◎議員発議案

国道253号八箇峠トンネル (仮称) 爆発事故の原因究明と早期の開通を求める意見書の提出について (提出者:山田 勝)	可決
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める意見書の提出について (提出者:関 昭夫)	可決
水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める意見書の提出について (提出者:中沢 一博)	可決

政務調査費の収支報告をします

●平成23年度 (H23.4 ~ H24.3)

会派名 (人数)	収入の部 交付額	支出の部					計	内 容
		調査研究費	資料費	広報費	会議費	事務費		
南魚みらい クラブ (8人)	960,000	894,360	70,560	0	0	0	964,920	<ul style="list-style-type: none"> ●視察 平成23年10月31日~11月2日 ●北海道千歳市:行政評価システムについて 他 ●北海道苫前町:風力発電について 他 ●北海道小樽市:観光都市の概況調査 ●平成23年12月11日 明日の日本を考えるセミナー参加 ●視察 平成24年2月6日~7日 ●自民党農林部会:TPPについて ●東京都渋谷区:ネスパス表参道 新潟館について ●図書購入
歩む会 (5人)	600,000	609,019	0	0	0	0	609,019	<ul style="list-style-type: none"> ●視察 平成23年8月18日~19日 ●国土交通省:三国川ダム水利権について ●中原八一参議院・長島忠美衆議員:激甚災害指定について ●埼玉県所沢市:空き家等の適正管理に関する条例について ●視察 平成23年11月14日~16日 ●高知県 高知市:大河ドラマ後の地域活性化について ●徳島県 上勝町 (株)いろどり:葉っぱビジネスについて ●徳島県 上勝町:空き校舎の有効活用について ●香川県さぬき市:学校再編対策室について ●視察 平成24年1月16日 ●新潟県観光課:新潟県の観光動向について 他
市政 クラブ (6人)	720,000	570,206	0	159,216	0	0	729,422	<ul style="list-style-type: none"> ●平成23年7月14日 地方議会議員の今日的役割と課題セミナー参加 ●視察 平成23年8月22日~24日 ●長野県 (助)飯伊地域地場産業振興センター:広域圏における地場産業育成への取り組みについて 他 ●岐阜県下呂市:有害鳥獣対策について ●岐阜県白川村:世界遺産「合掌造り集落」について ●視察 平成24年1月18日~20日 ●福島県会津若松市:議会改革について ●宮城県石巻市:防災対策について 他 ●視察 平成24年3月28日~29日 ●東京都 江東区:夢の島競技場について ●東京都 新江東清掃工場:東日本大震災がれきの受け入れ状況について 他 ●柏崎刈羽原子力発電所:防災対策等について ●会派広報紙発行

平成24年度国民健康保険 税率前年並みに

日本国民であれば誰でも等しく、均質の医療を受けることができるといふ国民皆保険制度を支える「国民健康保険制度（国保）」が、超高齢化を迎えて年々厳しさを増しています。

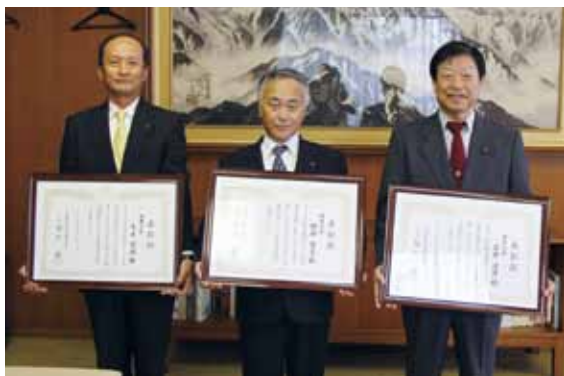
市町村により、国保の税率は異なりますが、南魚沼市は県内でも最も高い部類に属します。

5月28日の「議会全員協議会」では、平成24年度の税率が、繰越金などを充当するため、23年度並みに据え置かれることが報告されました。また、国保会計を支援するため、一般会計から法律で定められた枠を超えて支出を予定していた1億5,000万円については、今後、精査を加えながら9月議会でも補正予算として上程したい旨、報告がありました。

これに対し議員からは、4億1,000万円にも上る南魚沼市の国保税滞納の取扱いや、社会保険支払基金からの前期高齢者交付金等の今後の見込みなどについて質疑がありました。

全国市議会議長会より 表彰を受けました

- 阿部俊夫議員（市議会議員在職15年以上）
- 牛木芳雄議員（市議会議員在職10年以上）
- 若井達男議員（市議会議員在職10年以上）



牛木芳雄議員 阿部俊夫議員 若井達男議員

中学生議会があります

傍聴してみませんか

- 期日 8月19日(日) 午前9時
- 場所 市役所議事室（3階）
- 主催 (社)雪国青年会議所
- 後援 南魚沼市・南魚沼市教育委員会

9月議会 予告

9月に市議会定例会を開催します。

日程のお問合せは
議会事務局（☎773-6650）へ。

議会広報編集特別委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
岩野	中野	腰越	黒滝	鈴木	林	小澤	佐藤	佐藤	剛
松	一	晃	男	一	男	茂	男	剛	

編集後記

です。

さて、国内外の経済情勢は不安定でなかなか明るいきざしが見えません。我が市でも厳しい状況ではありますが、7月には「道の駅南魚沼（愛称：雪あかり）」がオープンしました。また、10月6日・7日には牧之通りで「国際ご当地グルメグランプリ」が開催され、多くのお客様が訪れることが期待されます。

あわせて、プリンスホテルは六日町八海山スキー場で採取した水を「南魚沼のおいしい湧き水」として販売を開始、5月には官民連携の取組に関する協定を締結し、観光交流人口の拡大、特産品の販路拡大等、市のイメージアップにつながることを期待しています。

編集委員 黒滝松男